



2024年10月25日

## 子ども支援 現場レポート⑧

ヤオコーでは、2020年9月から、埼玉県、埼玉県社会福祉協議会、アサヒロジステイクス株式会社さまのご協力のもと、埼玉県下の生活にお困りの子育て世帯を対象にしたお米の支援を開始しました。

2021年3月に「一般財団法人 ヤオコー子ども支援財団」を設立し、2021年9月より財団でこの活動を引継ぎました。2023年3月からは公益財団法人となりましたが、これまで同様、毎月1回埼玉県福祉部および埼玉県社会福祉協議会のご協力のもと、埼玉県内にあるフードパントリーと子ども食堂へお米をお届けしております。

お米の支援		配布エリア	個数	キロ数	子ども食堂	フードパントリー	配布団体の合計
30	2024年3月	三芳町	100	500	15	16	31
31	2024年4月	浦和市	200	1,000	1	5	6
32	2024年5月	越谷市	200	1,000	6	11	17
33	2024年6月	川口市	200	1,000	15	12	27
34	2024年7月	三芳町	200	1,000	20	10	30
35	2024年8月	北本市	200	1,000	30	8	38
36	2024年9月	鶴ヶ島市	200	1,000	26	13	39



公益財団法人

ヤオコー子ども支援財団

## 🌿 2024年3月 三芳町エリア 100袋 500キロ



三芳町にある上板塑性株式会社さまの駐車場が荷下ろし場所になりました。今回から、アサヒロジスティクスのドライバーさんは荷下ろしの際にヘルメットを着用されていました。納品が5kgで統一されたことで、お米の袋の数を数える手間が省け、団体ごとの振り分けもすぐ始められるので、作業がスムーズになりました。新しいボランティアスタッフも増え、初めてのご参加の方が多くいらっしゃいました。コロナ禍と比べ、こども食堂の団体数も増え、活動も活発になってきたようです。



🌿 2024年4月 浦和エリア 200袋 1000キロ



本日はさがみ典礼東浦和さまの駐車場が荷下ろし場所でした。また、今回形納品数が増え、毎月 200 袋をお届けできることになりました。以前より、多くの団体さまから「参加団体が増えて数が足りない…」とのお声をいただいておりますので、喜んでいただけました。さいたま市子ども食堂ネットワークが発行するパンフレットに、ヤオコーのお米支援も掲載していただいております。

パンフレット掲載されました。→





公益財団法人

ヤオコー子ども支援財団

 2024年5月 越谷エリア 200袋 1000キ<sub>ロ</sub>



本日は越谷流通団地が荷下ろし場所でした。埼玉フードパントリーネットワーク代表の草場さまからは「継続して支援していただき、さらに今年度から納品数を増やしていただいたということで、本当にありがとうございます。」とお声がけいただきました。



公益財団法人

ヤオコー子ども支援財団

🌿 2024年6月 川口エリア 200袋 1000キロ



さがみ典礼川口駅前葬祭センターが荷下ろし場所でした。気温が35℃を超える猛暑日となりましたが、ボランティア団体の皆さまのご協力のおかげでスムーズに作業を終えることができました。団体の方からは「最近お米が値上がりしてお店でもなかなかまとめ買いできないので、ヤオコーさんに支援してもらって助かる！」とお声がけいただきました。



🌿 2024年7月 三芳町エリア 200袋 1000キロ



あいにくの土砂降りでしたが、フードパントリー分は上板塑性株式会社さまの倉庫へ一時保管し、こども食堂分は3台の車にトラックから直接載せ替え、無事荷下ろしを終えました。これまでの活動で雨が降ったことがなく、本降りの雨の中での作業は初めてでした。今回は幸いにも一時保管できる倉庫をお借りできましたが、他の中間拠点では雨の際のピックアップ方法が課題になります。



公益財団法人

ヤオコー子ども支援財団

🌿 2024年8月 北本エリア 200袋 1000キ



きたもと子ども食堂の駐車場が荷下ろし場所でした。暑さが厳しい中でのお届けでしたが、多くのボランティアのみなさまにご協力いただきました。駐車場や目の前の道路などで交通整理が必要な場所ですが、みなさまスムーズに対応していただきました。店頭でもお米が品薄になっている状況でのお届けでしたので、大変喜んでいただきました。



公益財団法人

ヤオコー子ども支援財団

🌿 2024年9月 鶴ヶ島エリア 200袋 1000キロ



今回から、鶴ヶ島エリアの中間拠点がさがみ典礼やすらぎホール坂戸さまの駐車場になりました。まだまだ残暑が厳しいですが無事にお届けできました。以前の中継地点よりスペースが広く、トラックやボランティアの方のお車などの移動も余裕をもって行えそうです。チームひだまりの上蓑さまが、ドライバーの市川さんにも「ありがとうございます！」と手を振ってお見送りされていました。